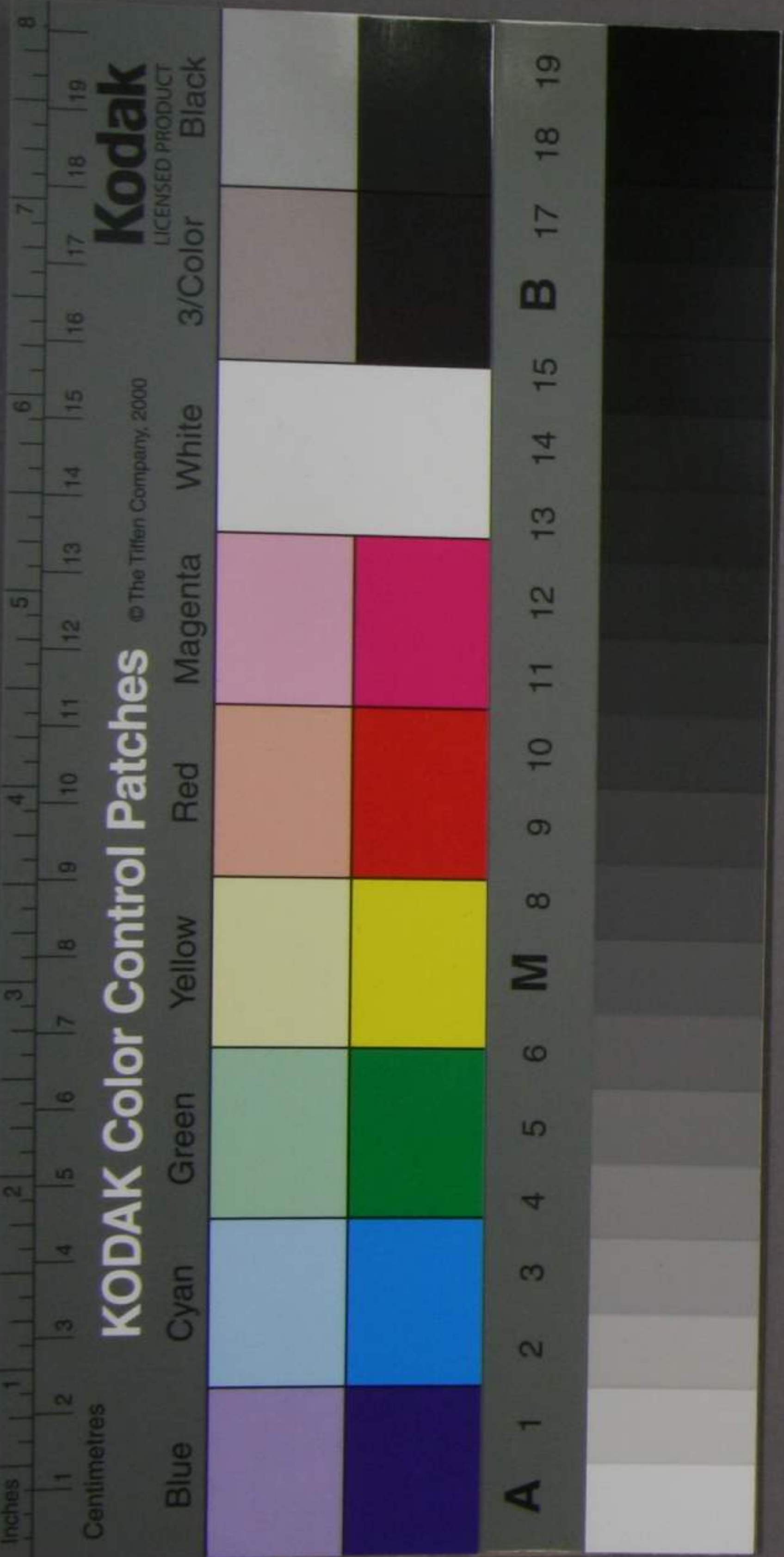


114
A1715



紙幣通用之義に付るは是に數回出布告之類に有之由上
融通自在なるを以て其項日好曲之徒廢製以て殊に支那人
模造之企有之故之風潮を以て右探察取締方之支那
之融以て其得共右藝實一に度其開道を曼延及に其の由來
之大患生民之由書將來之流毒救済之術を以て其を
之容易多し其速に取締方嚴重なる中其後支那令布告
而して其を其際或は待たる中好曲懲艾之道も其の間
是迄右刑曲を犯し其の速に其重之刑を以て其國家之大患
生民之至害未敷之防有之故以て其取締一寛曲之支那に
其智頑愚之民輕科之其心以て一時之榮利を偷して其生命

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



之理を誤りし生後毒天下一統を成り本を絶ち源を塞ぎ兼
之強弱を政府に倒さる外有る事左に得て究典を姑息
之仁多濟時救民之法政体之善之り然るに或は或は
左に得る向後此所務方之義を備え并拓使を分派し通
りて是を不度府縣に或は或は或は或は或は或は或は或は
或は或は或は或は或は或は或は或は或は或は或は或は或は
有る度此後此所務方之義を備え并拓使を分派し通

庚午六月日

民部省

辨官書中

紙幣之義再三以論告之趣も有る世上一般流融自在に
人民安堵を得る事近來製造の多しもの有る道に收縛懲
艾之に處置も有るが高底契不止殊に支那人奸曲を以
風聞も有るに後曼延及ぶるに國力の大患生民之至害
故業之術も有るに右を右に全く初發製造之規模完全に
より模造西文易きより如民之重刑を犯し以て政府改訂内法
亦之規を精密細致に之を國氏模造強至し以て國人製作
窮念の多しに往之製様を之を之を之を之を之を之を之を
流弊を防ぎしに中より之を之を之を之を之を之を之を
多し地紙流之に紋彫鑲摺三方とも英國と種類製成り

出札之上有数字年号并捺印之押切其他信證之類
摺之方法其設内外奸民製造之弊之類以爲之
能取之信以爲之也

庚午六月十三日

民部省

山本吉房中

右藩の以由を述ぶ

紙幣之故を原以趣き之を以て引替之事務を以て運ぶ事
と申すは紛交り出札通用を以て之を以て同用を以て之を以て
其間ヶ進む事延及し之を以て大患を生ずる事書り出札
爲る事之類あり之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て
其の地方其原道に同用等承り及ぶ事あり之を以て之を以て
之を以て且官控因之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て
出所先突出らば之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て
之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て
之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て
之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て之を以て

いよりのまゝにありて偏に掃蕩をせしむる事なきを以て
尤も此の官界に於ては其の如き事なきを以て其の如き事
を以て其の如き事なきを以て其の如き事なきを以て
其の如き事なきを以て其の如き事なきを以て其の如き事
なきを以て其の如き事なきを以て其の如き事なきを以て

二月五日

巡察手續

第一

巡察ノ官員ハ三府及ヒ各地ノ縣廳ヨリ派出スヘシ其派出スルニ
當リ本府及ヒ各管廳ヨリ巡察官員ヲ證スルタノ每員ニ印信ヲ渡シ
置クヘシ

第二

巡察官員ニ渡ス印信ハ三府及ヒ各縣廳ニ交通シテ官員何レノ地ノ
管廳ニ到ルニ其印信ヲ以テ證ヲ表シ其事ヲ議スヘシ

第三

巡察ノ國々別紙國分ケノ持場ニ從テ定ムヘシ其人員ハ持場ノ多クト
遠近トニヨリテ定ムヘシ

第四

巡察ノ官員ハ每員ニテ其持場ヲ豫定スヘシ且行走ノ間時々書信ヲ
本府又ハ其管廳ニ報シテ其散在スル地ヲ告知スヘシ
但探索ノ都合ニヨリテ持場ノ外ニモ随意行走シテ探ルコト得ヘシ

第五 巡察ノ官負奸偽ヲ探索スルニ付テ其地方ノ人民ヲ使役セント要サハ最寄府縣廳ニ議シテ之ヲ處置スヘシ

第六 穩密ノ搜索ニテ人ノ之ヲ聞知スルヲ厭ハ其官員限リノ方策ヲ以テ其地ニ附テ内ニ其人ヲ雇ヒ又ハ村長商民等ヲ使フニ勝手タルヘシ

第七 奸偽アルヲ探リ得ハヨク其原由ヲ究メテ最寄ノ縣廳ニ諮リテ速ニ本人ヲ捕縛シテ連及ノ者ヲ糺治スヘシ

但之ヲ捕縛スルハ其管轄地方官ノ任タルヘシ

第八 若シ誤テ之ヲ脱セシ時ハ之ヲ四方ニ報知シテ其跡ヲ追究シ且連及ノ者アラハ綿密ニ之ヲ糺治スヘシ

第九 奸偽ノ所為アルヲ探リ得ルニ未タ其徵證ナキカ又ハ官員ノ獨力ニテ之ヲ糺治スルヲ得サルノ類ハ事ヲ密ニシテ其地方官ニ諮リテ其證ヲ得ルヲ要スヘシ

第十

開港場巡察ノ法ハ殊ニ鄭重綿密ニシ別テ内外ノ商店西替店ニ心附ケヘシ其奸偽アルヲ探リ得ハ之ヲ捕ヘ之ヲ糺治スル等ハ其地方官ニ諮ルヘシ各地行走ノ間日夜其主務ニ注目スヘシト云ルニ殊ニ能ク都會ノ地又ハ物産多キ地等ヲ巡歴シテ其賣買ニ付テ各地ヨリ入来ル商估ノ所為ヲ按察スヘシ

第十一

譬ハ駿遠勢濃ノ地ハ茶ノ賣買陸羽上信甲ノ地ハ繅絲蚕種類ノ賣買ノ如シ宜シク他方ヨリ其地ニ来ル商估ノ所為ヲ按スヘシ其他米穀塩油及ヒ雜物等賣買多キ地ハ殊更ニ心ヲ留メテ探索スヘシ

第十二

僻郷窮邑ノ賤民ハ質偽ノ分別モ不心得ノ者モアルヘキニ付別テ心ヲ用ヒテ他方ヨリ入来ル商買其他ノ者ヲ按察スヘシ

第三

行走ノ間各地方官ノ取締向ヲモ心ヲ用ヒテ按察スヘシ若シ地方官於テ
等閑ノ所為アルハ其由ヲ審ミテ民部省ヘ申立ヘシ

第十四

各地方官ノ管内ニ於テ奸偽ノ所為アリテ其地方官ニ諮リテ之ヲ捕縛スラ
不便ナリトセハ他ノ地方官ヘ諮リテ之ヲ捕縛シ之ヲ糾治スルヲ得ヘシ

東京府	武藏	伊豆	相模	甲斐	上州	野州
神奈川縣	常陸	安房	上總	下總		
京都府	山城	丹波	丹後	若狹	越前	近江
大阪府	摂津	大和	河内	和泉	紀伊	播磨
兵庫縣	淡路					
按察府	陸前	陸中	陸奥	磐城	磐代	
石巻出張	羽前	羽後				
新瀉縣	加賀	能登	越中	越後	佐渡	
伊奈縣	尾張	美濃	飛騨	信濃		
度會縣	伊賀	伊勢	志戸	三河	遠江	駿河
倉敷縣	四國	三備	安藝			

濱田縣
日田縣
長崎縣
箱館

因幡

長門

肥前

伯耆

周防

肥後

出雲

豊前

大隅

石見

豊後

薩戸

美作

筑前

二島

隱岐

日向

筑後